

平成25年度豊明市障害者地域自立支援協議会 議事の要旨

平成26年3月26日（水）

午後1時30分～3時

豊明市商工会 イベントホール小

議 事

1 市長あいさつ

2 副会長選出

副会長として、民生児童委員協議会長 岩名委員が選出される

3 議 題

(1) 障がい者相談支援事業の実績について

事務局より資料1-1から1-7に基づき説明する。

【質疑・意見等】

- 早川委員：資料1-7 障がい者虐待の現状について、豊明市の虐待対応件数は2件となっているが、これは他市等に比較して多いと言えるのか。
事務局(市)：県での虐待認定件数についての明確な数字はお答えできないが、虐待があっても通報や相談に結びついていないケースが埋もれていると考えられるため、虐待防止や相談窓口についての一層の周知が必要と考えている。
- 三浦委員：相談機能の整備が進んできており、充実が進んでいると感じた。
地域の資源を把握し、活用する中での相談支援事業の意義は大きい。
- 辰野会長：基幹相談支援センターが社協に整備され、実績が上がったことは評価できる。

7ページ 虐待相談対応について、緊急時シェルター機能が市内にないがあるが、具体的な説明をお願いしたい。

事務局(フィット)：他市では特別養護老人ホームの空床を利用できるよう協議している例がある。

川上アドバイザー：虐待対応における分離措置は、近くの事業所で預かると分離した家族にすぐ見つかってしまう。圏域もしくは県での広域的な取組が必要と考え、働きかけているところである。近隣では日進市が緊急時ステイ事業を虐待対応にも利用できるように準備している。またビジネスホテル等に緊急避難する等にも使えるよう予算を確保している自治体もあると聞く。

(2) 各部会報告および今後の部会編成について

事務局より資料2-1から2-10に基づき説明する。

資料2-10 26年度自立支援協議会(案)は承認される。

【質疑・意見等】

三浦委員：P11 居住の場確保プロジェクトチームには期待したい。国や県の整備策の案の情報がかなり具体的に出てきているので、市には確実に支援策を利用し居住の場の整備を行えるよう今から情報収集して欲しい。知的障がい者の入所施設が東郷と豊明にはない。また要望は多いが不足しているのが短期入所。重度者受け入れはグループホームでは難しい。親亡き後の支援整備は待たなしで検討が必要で、豊明に足りないもの・必要なものをきちんと洗い出して欲しい。

住田委員：「セルフプラン」の位置づけをどう考えているのか。

また「そだつ部会」については、「新規人材確保」と「既存の人材の教育・育成」の2本柱の部会と考えてよいか。また新規人材確保としての催しはどのように参加者を集めていく予定なのか。

事務局（児童福祉課）：計画導入の目標を達成する中で質より量を優先した形となっている現状だが、これで良しとは考えていない。相談調整が必要なケースなど、相談員がプランを立てることも可能だと説明している。

事務局（社会福祉課）：2本柱の部会と考えている。新規人材確保の催しについては今後具体的な内容を詰めていく予定だが、参加者を集めるのにさまざまな工夫がいると思われるので検討していきたい。

(3) その他

- ・長江委員（ハローワーク）より、障害者就労相談の状況について追加説明。精神・知的障がい者からの相談が大変増えている。
- ・住田委員（尾張東部成年後見センター）より5月に実施される講演会について周知あり。

出席委員 近藤 二 委員、長江恵子 委員、辰野勝五 委員、住田敦子 委員
岩名昭文 委員、早川 要 委員、三浦美智子 委員、三好順子 委員

欠席委員 佐々木信富 委員、鈴木智宏 委員、兼子忠男 委員、川上智宏 委員
近藤 譲 委員、佐野 智 委員、藤田 潔 委員

事務局 尾張東部圏域相談支援地域アドバイザー（川上）、就労支援部会長（メイ
ツ施設長・大谷）、相談支援部会長（藤田メンタル相談所・吉井）、
豊明市障がい者基幹相談支援センターフィット（高木、森、大場）
障害児委託相談員（安達）、豊明市健康福祉部長（原田）、
社会福祉課長（松村）、社会福祉課長補佐兼障がい社会担当係長（犬塚）、
児童福祉課長補佐兼児童担当係長（岡田）、社会福祉課担当（藤弘）、

傍 聴 なし